

西江通信

春号 - Vol.4 -

現場だより	1-2
新入社員紹介 & 研修	3
特集「災害時事業継続計画」	4
PLUS NEWS!	5



新入社員研修で行ったドローン講習にて撮影。(撮影:工事部工事課課長 妹尾 慎一郎)



発行日: 令和2年5月29日(金)発行 春号〔通巻4号〕 / 発行元: 西江建設株式会社(帯広市西4条北2丁目20番地) / 編集者: 総務部 総務課
連絡先: (TEL) 0155-25-9105 / (FAX) 0155-23-9176 / (MAIL) m-ishizawa@nishie-co.jp ... 西江通信に関するご意見・ご感想などは左記までお寄せください ...

現場だより

橋梁耐震補強工事

工事名 : 一般国道38号 豊頃町 豊頃大橋耐震補強工事

施工場所 : 豊頃町

施工期間 : 令和元年7月16日(火)～令和2年6月30日(火)

発注者 : 国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部

請負者 : 西江建設株式会社

請負金額 : 518,870,000円 (税込)

進捗率 : 96.8%

現場職員 : 中島 陽、水上 陽出明、祖父江 舜



西江建設が手掛ける工事現場を徹底解剖！
現場代理人からリアルな現場の声をお届けします。

工事概要

豊頃大橋は、一般国道38号線で唯一、十勝川を渡る箇所であり、帯広～釧路間の交通・物流の要衝です。道内初のバスケットハンドル型ニールセンローゼ桁のアーチ橋を川の中央部に有し、その両側は箱桁形式の連続橋からなる、昭和58年に完成した全長984.2mの鋼鉄の橋梁です。

今回の工事は、長い年月による鋼材の腐食への対応や、近年の大規模地震以上の揺れにも耐える構造へ強化するための耐震補強及び橋梁補修工事です。

耐震補強工事では、橋を支えている橋脚部分の既存コンクリートの周囲に鉄筋・アンカーを設置し、型枠で囲み、その中にコンクリートを流し込み、橋脚の厚さを25cm増して補強する工事を行っています。これにより、耐久性の高い粘り強い橋に生まれ変わります。更に落橋防止装置も新設し、ずれ落ちを防止します。

補修工事では、腐食部材の取り換えや塗装の塗り替えで若返らせ、橋の長寿命化が図られます。

現場代理人

中島 陽

NAKAJIMA AKIRA



難しく感じるころ

難しく感じるのは、それぞれの補修内容や補強内容をしっかり理解したうえで施工を進めること。理解が十分でないまま施工を進めてしまうと、せっかく作ったものが機能を果たしてなかったり、別のものを施工するうえで支障があったり…。

現場代理人として心掛けをいうころ

明るい職場づくりを心掛けています。作業員さん、下請け業者の皆さん、同じ現場で働いてくれている皆さんとコミュニケーションをとり、明るい環境を作ることで、気付いたことや要望などを言いやすくなってくれればと思っています。



学生の声

当現場では、中学生の就業体験学習（帯広市立大空中学校2年生3名、帯広市立翔陽中学校2年生2名）や、高校生・大学生のインターンシップ（帯広工業高等学校 環境土木科2年生2名、北見工業大学 工学部3年生2名）などを受け入れています。初めて工事現場を体験した学生の声をご紹介します。

↓ VRを使用した労働災害の疑似体験



VRで土砂災害の映像を見ました。
災害を防ぐための説明が
とても勉強になりました！

普段は見られない道路の路盤を
見られて貴重な体験になりました！



↑ 施工中の作業について説明する様子

↓ 現場写真の撮り方を教えている様子



建設業は、人々の暮らしの
ために働く仕事だとい
うことがわかりました！

北海道科学大学 NET オープンキャンパスに協力しました！

工学部都市環境学科出身で活躍している卒業生代表として、情報化推進室の横田雄平さんが動画で紹介され、当現場での3次元測量を活用した最先端の施工について解説しました！



YouTube動画は
コチラ！



今回の現場をいちばん達成感を味わった瞬間

橋脚の補強が完了し、橋の下が元の姿に戻ったときです。5本の橋脚で、仮締切したり、橋脚まわりを掘削したり、足場を組み立てたりした上で、ようやく巻き立て補強が行えます。コンクリート養生後には逆に足場解体、橋脚まわりの埋め戻し、仮締切撤去。これらを、川が増水する雪解け前までの11月から3月の間に終わらせなければいけませんでした。すべての作業が終わって元の姿に戻った時は、大きな達成感がありました。



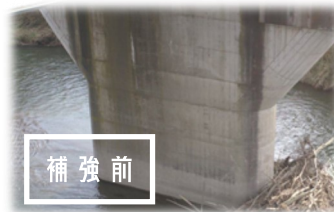
川を締め切ったこの施工



橋脚まわりの掘削



足場組立



補強前



補強後

工事部 工事課 工事長

平成25年入社

好きな食べ物
ラーメン

帯広工業高等学校出身

ちょっと
こぼれ話

休日の過ごし方

週末は、録りためていたドラマや、Jリーグのコンサドーレ札幌の試合を見て過ごしています。新型コロナウイルス感染症の影響でJリーグが中止になってしまったので、最近は楽しみが減っています…。

New!

新入社員紹介 & 研修



佐藤 如枝
SATO YUKIE

前 職：公務員
出身地：余市町
趣 味：映画鑑賞
温泉巡り

前職での経験を活かして
頑張ります！



本城 宏治郎
HONJO KOJIRO

前 職：地質調査会社
出身地：音更町
趣 味：写真
サッカー

施工者の仕事に憧れて
入社しました！



西原 千晶
NISHIHARA CHIAKI

出身校：帯広農業高校
出身地：帯広市
趣 味：カラオケ
アニメ鑑賞

今年度は資格取得に
力を入れて頑張ります！



畑中 滉也
HATANAKA KOYA

出身校：帯広農業高校
出身地：幕別町
趣 味：サイクリング

仕事を早く覚えられるように
努力して、楽しく働こうと
思っています！



丸山 翔大
MARUYAMA SHOTA

出身校：帯広農業高校
出身地：帯広市
趣 味：野球
体を動かすこと

地域に貢献できる
社員を目指します！

工事部
工事課
配属に
なりました！

令和2年の春、西江建設には5名の技術職員が入社しました。
私たちの新しい仲間をご紹介します！

研修の様子

社内研修



社内研修では、工事部業務の基本的な説明から始まり、PCでの図面作成練習(CAD)などを行いました。

現場見学



現在稼働中の現場を含め、十勝管内で手掛けた7つの現場を見学しました。

ドローン講習



実際の現場でも測量や撮影等に活用しているドローンの講習を行いました。
「ドローンを自分で操作したことがなかったので、操作方法や特徴を知ることができ、とても勉強になりました」(西原)
「空撮を初めて体験して、驚きがたくさんありました！」(畑中)

測量実習



本社駐車場で測量機器の取扱説明、機器設置練習を実施。その後、工事事務所での練習を経て、稼働中の現場で測量実習を行いました。

「稼働中の現場で測量をさせてもらったので、より実践的な測量ができ、貴重な経験になりました」(丸山)

特集

災害時事業継続計画 - BCP -

西江建設では、平成22年6月に災害時事業継続計画を策定し、運用を開始しました。地震や洪水などの自然災害や事故、その他甚大な被害が発生した場合、被災地における住民の安全確保、インフラ復旧業務を早期に開始することが当社の社会的使命であると考えています。

そのためには、迅速で適切な活動を行うための組織体制を構築することはもちろん、衛星電話などの通信連絡手段の確保、資材の確保なども重要な要素となります。今後も、運用していく中で継続的に改善し、地域に貢献する企業として努力していきます。

今回は、当社が取り組んでいる活動の様子や、有事の際に地域住民の皆様に活用していただける設備などをご紹介します。

訓練

BCP訓練(年2回)

大規模災害を想定した訓練では、災害対策本部を立ち上げ災害復旧活動のシミュレーション、設備・災害用備蓄品・食料の点検などを行っています。



災害対策本部



災害用備蓄品・食料の点検

消防訓練(年1回)

帯広消防署指導のもと、火災を想定した避難・通報・消火訓練を実施しています。あわせて、救命救急講習を行っています。



煙幕テントを使った煙体験



水消火器による消火体験

備蓄倉庫・発電機

備蓄倉庫

令和元年に、本社横に大型倉庫を新設しました。中には、大型発電機や安全パトロール車、飲料水、保存食品、カセットコンロ、携帯カイロ等の災害用備蓄品をはじめ、災害応急復旧活動を想定した緊急用資材を多数保管しています。



自動切替 始動式発電機

倉庫内には、自動切替始動式の非常用大型発電機(50kW)を設置しています。停電時には自動始動装置によっておよそ40秒以内に始動し、安定した電力を供給できます。



車両

三菱 アウトランダーPHEV トヨタ ハリアーHV トヨタ プリウスHV

社有車として、アウトランダーPHEV、ハリアーHV、プリウスHVを導入しています。



これらの車種はどれも電力供給ができる車両で、最大およそ1500Wの電力供給が可能です。

災害時、被災地が本社から離れた場所であっても早急に駆けつけることができ、発電機がない場合にも車両だけで携帯電話の充電や照明など、さまざまなものに利用することができます。

災害時事業継続計画

- Business Continuity Plan -

地震や洪水などの自然災害や事故、その他危機的な事態が発生した際に、重要業務を中断させず、またたとえ中断してもできるだけ短い期間で再開できるように、平常時から事業継続について準備しておく計画のこと。

地域住民への提供

携帯電話の充電

停電などには、発電機や電力供給可能な車両を利用し、携帯電話の充電設備などを提供します。詳しくは、FM JAGA・FM WINGなどのラジオ放送、かちまい電子版、帯広市役所ホームページで情報発信を行います。



アウトランダーでの充電



おびひろ 暮らしと防災ガイド 2020 (p.14)

にも掲載されています！

帯広市全戸に配布されている防災情報誌
(発行：帯広市、東洋株式会社 2020年3月)



感謝状をいただきました！

ー 利別川 水質事故対応 ー



専務取締役 昏本 博則
帯広開発建設部 部長 竹内 正信

令和元年9月に発生した利別川の水質事故の際、急遽の要請にもかかわらず河川環境保全に対する支援活動に貢献したとして、北海道開発局帯広開発建設部 竹内正信部長より感謝状を頂きました。

昏本専務取締役は「妹尾課長や当社作業員が、油まみれになりながら24時間体制で頑張った事が認められ嬉しく思います。今後も、何か事があれば地域の為に真っ先に駆けつけたいと思っています」と話します。 令和2年2月13日

ー 千歳市立信濃小学校 グラウンド整備 ー



千歳市教育委員会 総務課 課長 伊藤 樹美
工事課 工事長 鈴木 康貴
取締役札幌支店長 只野 数明

かねてから地域貢献活動に対し関心を持ち、千歳市立信濃小学校のグラウンド周辺整備を行い生活環境及び学校環境の向上に貢献したとして、千歳市 山口幸太郎市長より感謝状を頂きました。

鈴木工事長は「今回の整備によりグラウンド出入口の段差が解消されましたので、小学生の皆さんには今まで以上にグラウンドを走り回ってほしいと思います」と話します。

令和2年2月18日

ー 止若公園 デジタル温度計寄贈 ー



幕別町建設部 部長 佐原 敏文
工事課 課長 妹尾 慎一郎
幕別町 町長 飯田 晴義
常務取締役 西江 晴彦
工事課 工事長 村田 高広
工事課 主任 西川 和仁

地域貢献の一環として止若公園内のパークゴルフコースにてデジタル温度計の設置工事を実施し、幕別町飯田晴義町長より感謝状を頂きました。

妹尾課長は「幕別町さんには日頃から大変お世話になっております。また、今回の現場はパークゴルフ発祥の地に隣接しています。ぜひ、プレー中の熱中症対策に使っていただきたいと思います」と話します。

令和2年3月24日

スケジュール

令和2年5月 - 令和2年7月

- 5/29(金) 本社周辺道路の花壇造成
- 6/06(土) クリーンワークとちin札幌内川に参加
- 7/23(木) 海の日のため休業 (4連休)
- 7/24(金) スポーツの日のため休業

次回「夏号」は、8/31発行！

お知らせ

公式YouTubeチャンネルができました！

西江建設

ココから
アクセス！



現在、当社のYouTubeチャンネルでは、「西江建設のWEB会社説明会動画」を掲載しています。

今後は、仕事紹介をはじめ当社のことを知ってもらえる動画を更新していきますので、ぜひチェックしてみてください！



昭和56年に入社以来、39年間の
永きにわたり当社の発展に尽力された
小浅担当部長が定年退職されました。
長い間、本当にお疲れ様でした！

